



あさひやまどうぶつねニュース
ASAHIYAMA ZOO NEWS

モユク・カムイ

☆モユク・カムイとはアイヌ語で
「エゾタヌキ」のことです。



NO.

26

OCT
1991



表紙のことば

ハシビロガモ

はじめて見たとき、びっくりした。うわさには聞いていたが、なんてすてきなくちばしをしているのだろう。小さなからだに不釣合いなほど大きく、そして先が広がった、ちょっと不格好だが………英名を調べて2度感激！

Shoveler（ショベラー）だって！

もくじ

- 2 ほっと ひとPhot -
- 3 新・どうぶつ解析考 - 花札の秋
- 4.5 シリーズ「動物ってなんだろう？」
第4回 「サル」その3 狹鼻猿
- 6.7 ペットの冬越し
- 8 動物園放浪記 - ちあきの巻③ -
Vet News (動物病院から)
- 9 飼育研究レポート
- コガモの繁殖 -
- 10 ゲンちゃんの追求コーナー
- アザラシはどうして淡水で飼え
るの -
クイズ
- 11 飼育日誌
お知らせ



新・どうぶつ解析考

花札の秋

8月 すすきに満月

日本の秋である

ススキの野原を越えて雁が渡っていく
マガシだらうか、ヒシクイだらうか

9月 菊に杯

最後の花 最も遅く咲く花である
真打は最後に登場とばかり
見事に大輪を咲かす
似合いの動物が思い付かないのがくやしい
それで酒

10月 紅葉に鹿

奥山にもみぢ踏みわけ 鳴く鹿の
声きくときぞ 秋は悲しき
猿丸大夫につくる

おなじみのおさるさん
ニホンザル
Japanese Monkey
Macaca fuscata

旭山動物園ではこの春、サル山がニホンザルの新しい群になりました。

3~5才の若いサル22頭と以前から飼育中の1家族4頭の「群れ」になりました。群を率いるリーダーは若いサルたちから出るにはまだ時間がかかりそうで、現在のところあばあさんザル（♀約20才）がみんなのまとめ役になっています。

若い群が今後どのように発展していくのかが楽しみです。

長い時間すわっていても
おしりが痛くならない

尾 短い。10cmくらい

毛 寒い場所にすむサルは
長くてホワホワ

後あし かかとをつけて歩く
手のように器用

しりだこ



目 顔の前にあり
立体的に物を見るのによい

鼻 ほそく鼻すじが
通っている

顔 若い頃はあまり赤くない
年をとるにつれ赤味が
増す

ほほぶくろ

口の奥にポケットがあり、
食べ物をつめこむ

●分類

オナガザル科
オナガザル亜科
マカク属
マンガベイ属
ヒヒ属
マンドリル属
ゲラダヒヒ属
オナガザル属
タラボアン属
アレンモンキー属
バタスモンキー属
コロブス亜科
コロブス属
オリーブコロブス属
ラングール属
ドゥクモンキー属
シシバナザル属
テングザル属
メンタウェー
シシバナザル属

ニホンザルの分布



●下北のサル

ニホンザルは約200種と言われるサルの仲間の中で、最も北に分布するサルです。中でも本州最北端の青森県下北半島に生息する数群(約250頭)のサルたちは、二つの意味で「北限のサル」と言えるでしょう。

今から40~50万年前、中国大陸の南部から日本列島に移住してきたニホンザルの祖先が、徐々に分布を広げ、津軽海峡にまで達した。この地にまで到達したことは、サルが本来南方系の動物であることをえるとき、まさに驚くばかりです。

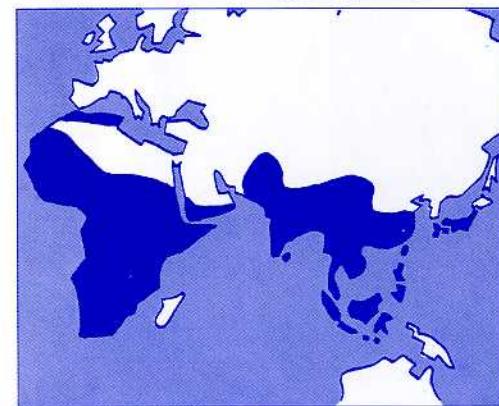
最近の研究で、種と種の近縁関係をはかる目安として、遺伝子の遺伝学的距離が注目されていますが、九州の屋久島にすむヤクザルというニホンザルの亜種と、本州のニホンザル、下北のサルの3者を比較したところ、ヤクザル-本州の距離よりも、本州-下北の距離の方が大きいということが分かりました。このことは亜種であるヤクザルよりも、下北のサルの方が早い時期に本州のサルから半島内に隔離されてきたことを示しています。ですからニホンザルの中で最も祖先に近いサルではないかと考えることができます。

この貴重なサルたちに、最近大変な危機が迫っています。数年前に半島南部のレジャー施設で飼われていたタイワンザルの群れが逃げ出し、野生化してしまいました。その群れが北上をはじめ、下北のサルたちと接触する恐れが出てきました。タイワンザルとニホンザルとは近縁ですので、交尾してしまうと雑種ができてしまう可能性が高いと思われます。ニホンザルは秋から冬にかけてが交尾期ですので、大急ぎでタイワンザルを全頭捕獲するとか、何等かの手を打たなければ下北のサルたちの純血性が損なわれる危険性が非常に高くなってしまいます。とても心配です。



その3 もっともさるらしいサルの仲間

きょう び えん **狭鼻猿** (旧世界ザル)



どうぶつなんじだ？ さる！



アジア・アフリカ両大陸に生息する、真にサルらしいサルで、左右の鼻孔の間隔が狭いため「狭鼻猿」とい呼ばれます。

形態的には歯式がヒトと同じく $\frac{2.1.2.3}{2.1.2.3}$ であること、「しりだこ」があることが特徴です。

●オナガザル亜科

頬袋を持ち、主に植物を食べますが、雑食傾向も強く、生活力が旺盛です。地上・樹上・高地・海岸と幅広い環境に適応し、ニホンザルのように雪の降る地方にまで分布しています。

アフリカのヒヒやグエノン、アジアのマカクがこのグループの仲間です。

●コロブス亜科

木の葉を主食とするサルで、ほとんどが樹上生活をしています。頬袋はありません。胃が大きくいくつかにくびれており、木の葉のような繊維の多い食物を大量に消化することができるようになっています。

アフリカのコロブスや、アジアのリーフモンキー、テングザルがこの仲間です。



シロエリマジガベイ

サバンナモンキー

クモヒゲグエノン

バタスマンキー

ゲラダヒヒ

テングザル

コールデンモンキー

コートル・ラングール

アカコロブス

マントリル

北国はもう雪がチラチラ。仲良しのペットたちもサム一イッ!



秋になるとカメやアヒルの冬越しについての問い合わせが多くなります。
今回はちょっとマイナーなペットの冬越しについて特集します。

●シマリス

シマリスは冬になると冬眠をします。冬眠はさせなければいけない、というものではありません。飼育する場合、冬眠させる飼い方と、冬眠させない飼い方があります。



冬眠させない飼い方

暖房のきいた部屋の中で飼います。夜、冷えないよう
にカゴに毛布などをかけてあげましょう。この飼い方
が1番安全です。

冬眠させる飼い方

秋になる頃、家の中で、あまり暖房のきかない場所に
カゴを移します。

カゴの中にワラや新聞紙など、巣材になるものをたく
さんいれます。

ヒマワリなどの木の実をたくさん与えます。

巣箱は2つ以上入れます。

ひとつは、エサを貯蔵するため。

ひとつは、冬眠用に使います。

冬眠入っても、10日おきくらいに巣箱から出て、エ
サを食べ、水を飲みます。

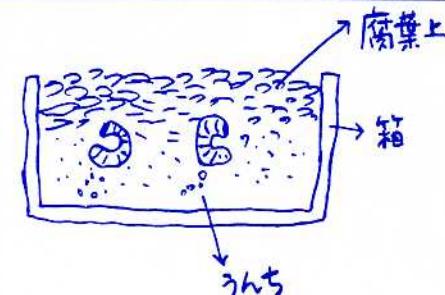
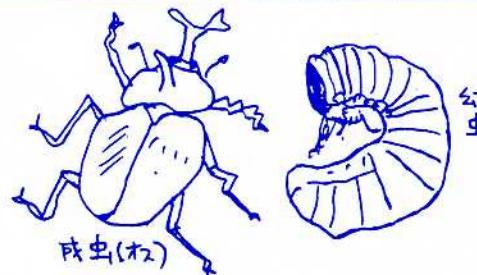
水飲みは必ず入れておきましょう。

●カブトムシ

カブトムシの幼虫は冬の間も餌を食べます。腐葉土が大量にあれば、その中は、発酵熱で暖かく凍ることはあります。家で飼う場合はリンゴ箱（木箱）に腐葉土を入れて出来るだけ暖かい場所で飼いましょう。

腐葉土をあまり湿らせると、幼虫の体に黒い斑点が出る病気になり、死んでしまいます。腐葉土が、手にべとつかない程度の湿り気を保ちましょう。

腐葉土の中が、幼虫の糞だらけになら、腐葉土を取り替えましょう。カブトムシの成虫の大きさは、幼虫時代の栄養のよしあしで決まります。

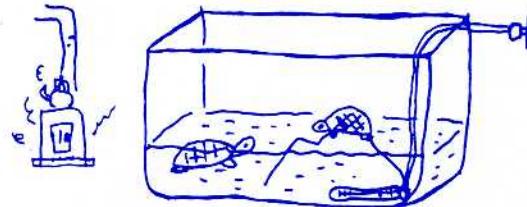


●カメ

イシガメ、クサガメは冬眠しますが、ミドリガメは本来冬眠する習性はありません。いずれの場合も、
日中でも室温が20度を切ると、あまり餌を食べなくなります。冬眠させる飼い方と、冬眠させない飼い
方があります。

冬眠させない飼い方

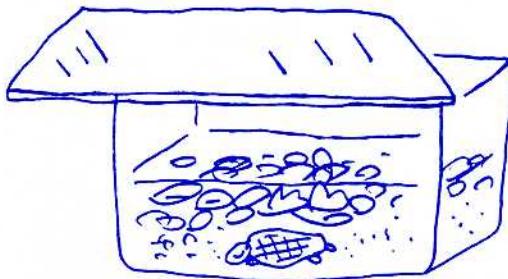
暖かい部屋で今までと同じように飼います。水槽用のヒーターをいれて水温を22度くらいに保ちましょ
う。



日当りのよい場所で飼いましょう。日光に当てないと、ビタミン不足になり目が腫れていきます。

冬眠させる飼い方

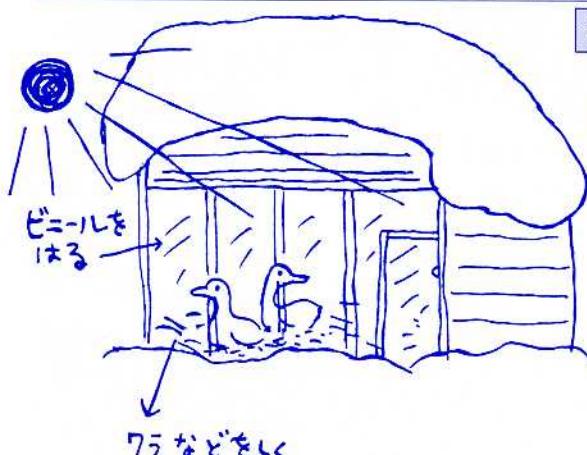
餌を食べなくなったらカメの甲らの厚さの1.5倍位の水を入れ落葉をたくさん入れます。まったく頭を出
さなくなったら、水を30cmの深さまで入れます。水の表面に氷が張るくらいの静かな寒いところに水槽を置
き、春まで待ちます。



北海道では、野外で冬眠させることは危険ですので、室内で冬眠させましょう。

●アヒル

庭で飼っているアヒルは、どうしても羽が汚れて、水を弾かなくなってしまいます。水浴びをさせると胸の辺りの羽がビチャビチャになりませんか？特に冬は、水が直接肌までしみてしまうと、命取りになります。冬でも外で飼えますが、水浴びはさせない方がいいでしょう。餌は野菜を刻んだものと、鶏用の配合飼料を混ぜたもの（夏場と同じ）を与えます。冬は餌も水も凍りやすいので1日2～3回取
り替えましょう。



ポイント

日当りのよい場所で飼いましょう。
風や雪が入らないよう小屋を作りましょう。
小屋の中にわらなどをいれましょう。
水のみは図のようなものを買って使いましょう。





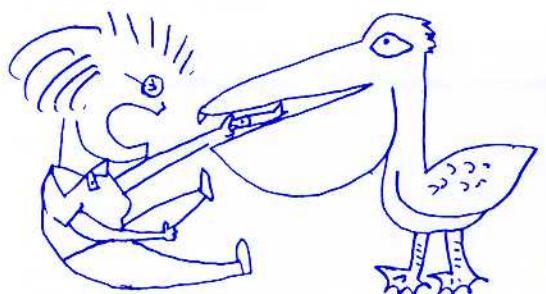
動物園の教育活動

今回は伊豆シャボテン公園と伊豆バイオパークを紹介します。2カ所とも私が持っていた動物園のイメージからはかけ離れ、ただ驚くばかりでした。

シャボテン公園は園内に入ったとたん、メキシコの古代遺跡の石彫があり、違う世界に入り込んだ気がしました。中央には人工湖がありテナガザルやキツネザルの島が浮かび、緑も多く人為的な感じを受けませんでした。石像やピラミッド型の温室、獣舎も含め、全体の雰囲気が統一されていました。ピラミッド型の5つの温室は地下道で結ばれ、その地下道の両側には、パカラナ、ビスカチャ、ナマケモノといった南米の動物たちがジオラマ展示されていました。動物園は動物を見る場所であるけれど、それと同時に動物園全体を見て楽しむ所でもあるとつくづく感じました。また、園内にはリスザルをはじめクジャクやペリカンなど多くの動物たちがその場の放し飼いになっており、身近にいることが自然に見えました。飼育係がペリカンに餌を与えるようすも見ることができ、来園者にとって、また一つの思い出深いことになるかもしれません。来園者がいろいろなことを感じられる機会が多いということは、とても大切なことだと思いました。

バイオパークは中央に草食獣のサファリゾーンがあり、内側をバスで一周りし、外側を歩いて観察できるようになっていました。バスの中ではテープによる動物の解説が行なわれ、キリンの所では来園者が木の枝を与えることができ、長い舌を直に見ることができました。オーストラリアゾーンではカンガルーの人止め柵が腰くらいまでしかなく、驚かされました。動物は獣舎から出ないのが当たり前と考えていた私にとって「出たら入ればいい」という言葉は忘れられません。今では、柵外へ出るカンガルーはほとんどいないそうですが。

バイオパークには、子供動物園のような施設はありませんでしたが、小動物に触れる場所があり、そこにあった「うさぎが咬むことがあります」という看板がたいへん印象的でした。根本的な違いがあるとはいえ、来園者に対する心使いは見習いたいところです。



6月5日、生後2~3日令のエゾシカの仔が保護されてきました。親とはぐれて雨の車道を歩いていたそうです。幸いけがもなく元気でした。ミルクを飲ませようと、いろいろな大きさの乳首をつけた哺乳瓶で試してみましたがうまく飲んでくれません。それならばと、深めのさらに温めたミルクを入れて与えてみたところジュージューと音を立てて飲んでくれました。後で分かったのですが、哺乳瓶にこだわると十分なミルクを与えることができず、人工哺育に失敗することが多いようです。このミーコちゃん、当然野生に帰すことは出来ませんから、当園で飼育しているエゾシカと一緒に生活することになります。現在やっとほかのシカともうまくやっていけるようになりました。体が少し小さいのですが、無事冬毛に生え変わり、厳しい冬を迎える準備もできました。



旭山どうぶつせんの記録

飼育研究レポート

コガモは日本で見られるカモの中で最も小さい種類の一つです。ユーラシア大陸の北部で繁殖し、日本へは冬鳥として、シベリア方面から多数飛来します。また、小数は北海道でも繁殖しています。

当園でも、コガモを繁殖させようと、いろいろと試みてきましたが、産卵までもいたりませんでした。ところが今年の7月1日フライングケージの池で交尾しているコガモを確認しました。

「もしかすると?!」と期待して待っていたところ、7月9日ケージ内に設置してある巣箱の中で抱卵しているコガモを発見しました。

特にコガモ用の巣箱は置いておらず、以前からアカリュウキウガモが使用していた巣箱(50×45×45cm)を地面に置いておいたものを利用していました。

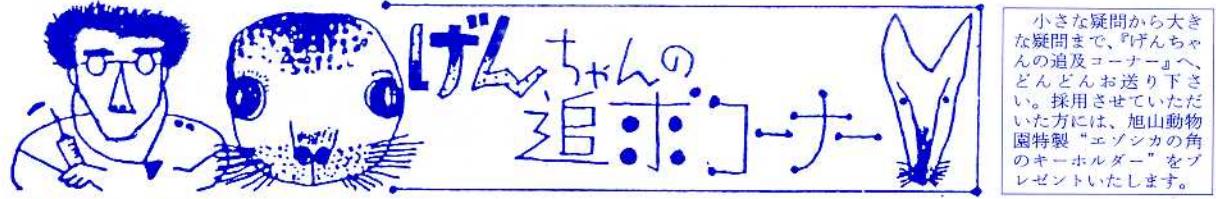
7月30日の朝、いつもはじっと巣の中で卵を温め、けっして外に出て来ない母ガモが外に出ていて、なんとなく落ち着きのない様子でしたので、そっと巣箱の中をのぞいてみると、ヒナが巣の中にうずくまっていました。

いつものようにケージ内の掃除をしていると、ホシハジロがコガモの巣の中を伺っています。そのうち母ガモと大喧嘩を始めてしまいました。フライングケージには8種60羽ほどのカモが同居しており、いちばん小さなコガモがこの中でヒナを育てることは困難と思われたので、母ガモごと巣箱を別の部屋へ移動させました。



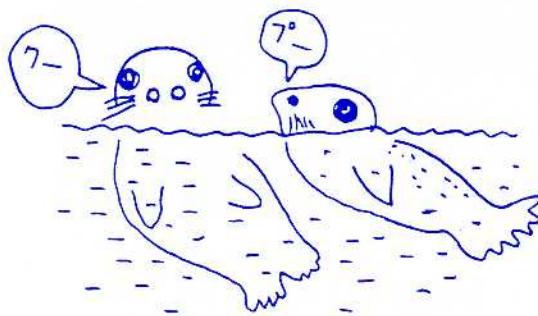
次の日の朝、無事育てているかどうか心配して部屋をのぞいてみると、小さなヒナ5羽が水飲みのバットの中に浮かんでいるのを見つけ、ほっと一安心させられました。エサをやって夕方のぞきに行くと、バットの水が汚れていたので、エサを食べているらしいことも分かりました。

1羽は途中で死んでしまったのですが、4羽は無事成長し、9月9日大きな2羽が初めて空を飛びました。続いて9月16日残りの2羽も飛べるようになりました。初めて成功したコガモの繁殖。旭山動物園では8番目の繁殖賞授賞となります。



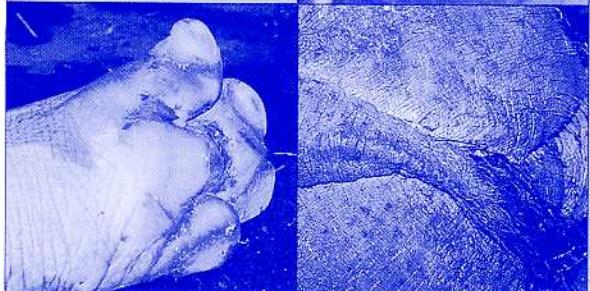
Q アザラシは海の生き物なのに、海水じゃなくても飼育できるのはなぜですか？

鈴木 雄馬君（札幌市）



クイズ

私は誰でしょう？
3枚の写真はある動物の一部分です。
では、この動物はいったい誰でしょうか。



正解者の中から抽選で3名の方に旭山動物園特製“エゾシカのキーホルダー”が当たります。

応募方法

ハガキに答えと住所、氏名、年齢、電話番号を書いて
旭山動物園モユク・カムイ係までお送りください。

応募〆切

1991年12月31日



●前号の答え●

正解はウサギでした。
《正解率58%》
写真はウサギの「鼻」と「前足」と「目」でした。

キーホルダー当選者

旭川市 松井 健さん
帯広市 天生目淳子さん
函館市 中川かおるさん

旭山動物園日記(平成3.7.11～平成3.10.1)

- 7.11 ワオキツネザル ペアリング
- 7.17 ZOOガイド「登和利小学校」
- 7.18 ZOOガイド「滝川市婦人ボランティア」
- 7.19 サル山に成獣（♂）を入れる－失敗
- 7.21 サル山に老獣（♂, ♀）を入れる
サル山、旭山の4頭合流
- 7.23 ZOOガイド「神楽公民館」
- 7.25 サル山で外傷続出
- 7.27 夜の動物園～7.28
- 7.28 夏休み親子動物教室 №1
「光に集まる虫たち」
サル山－長男・次男隔離
- 9.29 ZOOガイド「愛宕東小4・2」
- 8.1 動物園サマースクール～8.3
- 8.4 夏休み親子動物教室 №2
「水の中の虫たち」
- 8.10 夜の動物園～8.11
ZOOガイド「西御料地小学校」
- 8.11 夏休み親子動物教室 №3
「草むらの虫たち」
ZOOガイド「滝川シレニア会」
- 8.13 夜の動物園～8.16
ZOOガイド「中央公民館」
- 8.15 アカハナグマ入院 16死亡
- 8.21 カバ輸送のため檻どり
- 8.23 カバ韓国全州市動物園へプレゼント
オオハクチョウ死亡
ZOOガイド「占冠保育所」
- 8.28 フラミンゴ脚環装着・仮切羽
- 9.3 旭川市愛宕中学1年体験実習
- 9.4 旭山動物園第161回飼育研究会
「ヘイケボタルに関する研究」坂東
- 9.16 ニホンザル退院
- 9.22 チンパンジー下痢
- 9.24 ZOOガイド「中里小学校」
- 9.26 チンパンジー流産
- 9.29 エゾシカ角切り

飼育動物数

(10月1日現在)

哺乳類	39種	183点
鳥類	86種	496点
爬虫類	9種	51点
合計	134種	730点

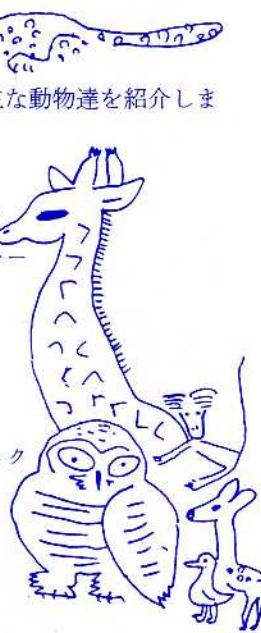
おしらせ

今年は10月20日で閉園しました。来年は4月29日に開園を予定しています。動物達は職員と一緒に来年の開園を元気に待っています。年明けには2～3回『冬の動物園』を予定していますので、是非、雪の中の動物たちに会いにいらして下さい。

◎今年うまれた動物たち

今年、旭山動物園で生まれた主な動物達を紹介します。

- 3月11日 シベリアヒョウ
- 4月23日 シンリンオオカミ
- 4月25日 ボンネットモンキー
- 5月6日 ハイイロガソ
- 5月12日 ワピチ
- 5月30日 オセロット
- 6月3日 アミメキリン
- 6月3日 ハイイロコクジャク
- 6月17日 エゾシカ
- 6月26日 シロフクロウ
- 7月7日 オシドリ
- 7月23日 エゾシカ
- 7月30日 コガモ
- 7月31日 アカリュウキュウガモ
- 8月11日 アカリュウキュウガモ



◎モユク・カムイの申し込み方法

120円切手を同封して、旭山動物園・モユク・カムイ係までお申し込みください。

続けて御希望の方は120円切手をお送りください。
年4回発行予定ですので、そのつど郵送します。

編集後記

今年も1年が駆け足で過ぎていきます。
動物園は、10月20日で閉園しました。今年は何回、足を運ばれましたか？
これから長い「冬ごもり」です。来年も、動物達が元気な姿で、皆さんにお会い出来るよう、動物たち、そして私たち職員も頑張ります。



モユク・カムイ №26 平成3年10月27日

発行所 旭川市旭山動物園 〒078 旭川市東旭川町倉沼 電0166-36-1104
発行人 菅野 浩 編集委員 小菅正夫・阿部 寛・坂東 元・谷ちあき
印刷 谷川印刷株式会社 〒070 旭川市旭町1条4丁目 電0166-51-0653